

総合案内

会場

パシフィコ横浜 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

日程

内容	日時	会場
学術集会 第1日目	10月17日(木) 8:20~18:10	パシフィコ横浜 会議センター
全員懇親会	10月17日(木) 18:30~20:00	ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3F ボールルーム
学術集会 第2日目	10月18日(金) 8:20~17:25	パシフィコ横浜 会議センター

※第1日目の日程終了後、全員懇親会を開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。参加費は無料です。

内容	日時	会場
日本整形外科学会理事会	10月16日(水) 9:00~12:00	ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3F アトランティック
同 奨励賞選考委員会	10月16日(水) 11:00~14:00	〃 3F エーグ
同 役員・代議員懇談会	10月16日(水) 14:00~18:00	〃 3F ボールルーム

使用会場

パシフィコ横浜 会議センター			座席数	内容
第1会場	1F	メインホール	1,000	開会式, 会長講演, 特別講演, 招待講演, 日本医学会連合加盟学会連携フォーラム, ランチョンセミナー, 第22回日整会研修指導者講習会, 閉会式
第2会場	5F	503	300	特別講演, 臨床系学会推薦・基礎講座, シンポジウム, パネルディスカッション, ランチョンセミナー, 第53回日整会骨・軟部腫瘍特別研修会
第3会場	5F	501	280	招待講演, シンポジウム, パネルディスカッション, ランチョンセミナー, スイーツセミナー
第4会場	5F	502	280	招待講演, シンポジウム, パネルディスカッション, ランチョンセミナー, スイーツセミナー
第5会場	4F	414+415	130	一般演題口演, 優秀演題セッション, ランチョンセミナー, スイーツセミナー
第6会場	4F	416+417	130	一般演題口演, ランチョンセミナー
第7会場	3F	311+312	120	
第8会場	3F	313+314	120	
第9会場	3F	315	140	
ポスター会場	3F	301~304		一般演題ポスター発表・討論
展示会場	3F	301~304 フォワイエ		企業機器・医薬品展示, 書籍展示
休憩コーナー	3F	フォワイエ		ドリンクサービス

お知らせとお願い

I. 参加者へのお知らせ

1. 参加登録

1) 参加登録方法

本学術集会では事前参加登録は行わず、当日登録のみといたします。当日の手続きには IC 会員カードが必要となりますので必ずご持参ください。なお、IC 会員カードをお持ちでない方、またはお忘れの方には、当日、仮 IC 会員カードを発行いたします。

2) 参加登録費

対象者	参加登録費
日本整形外科学会会員	15,000 円
日本整形外科学会非会員	15,000 円
臨床研修医(研修会員含む)	5,000 円
学生(大学院生を除く)	無料

※臨床研修医および学生の方は所属長の証明が必要です。証明書は、本学術集会ホームページ (<https://convention.jtbcom.co.jp/joakiso2019/>) からダウンロードできます。

※抄録集(日整会誌)は日本整形外科学会会員にはお送りしていますので、必ずご持参ください。お忘れの方や、追加を希望される方は、当日総合案内で購入(2,500 円/1部)できます。

2. 参加登録受付の手続き(次ページの「受付の流れ」を併せてご参照ください)

- 1) IC 会員カードをお持ちで日本整形外科学会カード(以下会員クレジットカード)決済の方
参加登録受付で IC 会員カードを読み取り機にかざし、画面の案内に従って参加登録および参加登録費の決済を行ってください。すべての手続きが完了いたしますと、参加章と領収書が発行されます。会員クレジットカード以外のクレジットカードは使用できません。
- 2) IC 会員カードをお持ちで現金決済の方
参加登録受付で手続き後に、現金決済窓口で参加登録費をお支払いください。すべての手続きが完了いたしますと、参加章と領収書が発行されます。
- 3) IC 会員カードをお忘れの方またはお持ちでない方
 - ① 仮 IC 会員カード発行窓口で、仮 IC 会員カードを発行いたします。ただし、発行には 2,000 円の保証金が必要となります。2,000 円はお帰りの際に 仮 IC 会員カード発行窓口で返金いたします。学術集会終了後は返金いたしませんのでご了承ください。また、会期中にご自身の IC 会員カードが見つかった場合でも、同一会期中は同じ IC 会員カードを使用する必要がありますので、そのまま終了まで仮 IC 会員カードをご使用ください。
 - ② 上記 2) に従って参加登録の手続きを行い、参加登録費をお支払いください。
- 4) 非会員・臨床研修医・学生の方
非会員・臨床研修医・学生受付で参加登録申込書(非会員・臨床研修医・学生用)にご記入の上、該当の参加登録費をお支払いください。引き換えに、参加章と領収書をお渡しいたします。

9. 企業機器・医薬品展示, 書籍展示, ドリンクコーナー

企業機器・医薬品展示	3F 301～304	10月17日(木) 9:30～17:30 10月18日(金) 8:20～16:00
書籍展示	3F フォワイエ	
ドリンクコーナー	3F フォワイエ	

10. 喫 煙

会場内は所定の場所以外は禁煙です。喫煙は、パシフィコ横浜 会議センター1階, 3階, 5階の喫煙所をご利用ください。

11. 駐 車 場

会場の駐車場は台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関(バス, 電車, タクシー等)をご利用ください。

12. 録音・撮影

会場内での録音および写真・ビデオ撮影は固くお断りいたします。

ただし、日本整形外科学会・学術集会主催校・海外対応学会および共催企業が、会期中に会場内の写真・ビデオ・音声を記録し、後日、教育や広報などのために、学会誌・ウェブ・冊子などの媒体上で使用場合があります。参加者各位におかれましては、あらかじめご承知おきください。

13. 携帯電話や時計のアラームなど

会場内での携帯電話の使用はご遠慮ください。あらかじめ電源をオフにするか、マナーモードに設定し、アラーム機能を解除してご入場ください。

全員懇親会開催のご案内

第1日目(10月17日)の日程終了後、全員懇親会を開催いたします。
多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

日 時：10月17日(木) 18:30～20:00

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
3F ボールルーム

参加費：無料(参加章をご着用ください)

II. 優秀演題賞のお知らせ

一般演題口演の中から、最優秀演題賞1名、優秀演題賞2名、優秀ポスター演題に応募されたポスターの中から、最優秀ポスター賞1名、優秀ポスター賞2名を選出し、閉会式にて表彰します。選考結果は10月18日(金)15時以降にパシフィコ横浜会議センター2階ロビー掲示板に掲示しますので、必ずご確認いただきますようお願いいたします。なお、閉会式で表彰式を執り行いますので、受賞者をご出席いただきますようお願いいたします。

一般演題口演 優秀演題賞候補者

岩井 正 (1-5-BO-1) 太田 光俊 (1-5-BO-2) 清水 貴樹 (1-5-BO-3)
田畑 祐輔 (1-5-BO-4) 田丸 哲弥 (1-5-BO-5) 濱崎 雅成 (1-5-BO-6)

一般演題ポスター 優秀ポスター賞候補者

河田 学 (1-5-BP-1) 北出 誠 (1-5-BP-2) 串岡 純一 (1-5-BP-3)
鈴木 裕貴 (1-5-BP-4) 谷本 祐之 (1-5-BP-5) 中島 隆之 (1-5-BP-6)
松本 光司 (1-5-BP-7) 三村 哲彦 (1-5-BP-8) 山中 芳亮 (1-5-BP-9)

(五十音順・敬称略)

Ⅲ. 座長の皆様へ

1. 口演会場では、担当セッション開始時刻の15分前までに、会場の次座長席にご着席ください。
2. ポスター会場では、担当セッション開始時刻の10分前までに、ご担当のポスター前にお越しください。

Ⅳ. 発表者の皆様へ

1. 学会発表における患者プライバシー保護について

学会発表では患者のプライバシーを重視し、平成16年12月1日付の会告(日整会誌第78巻第12号996-7頁, 2004年)に準拠されるようお願いいたします。

2. 利益相反(COI)の開示について

口演発表およびポスター発表をされる方は、「日本整形外科学会における事業活動の利益相反(COI)に関する指針」に基づき、利益相反の申告にご協力をお願いいたします。

筆頭演者は利益相反の有無にかかわらず、発表時に開示しなければなりません。口演発表スライドの最初に、COIがない場合は「様式2-A」、ある場合は「様式2-B」、またはポスターの最後に該当するCOIの有無、および有の場合はその状態を開示してください。学術集会ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/joakiso2019/>)の「利益相反について」の「スライド見本(様式2-A, 2-B)」、「ポスター(様式1-C)」を参照してください。

3. 口演発表の皆様へ

1) 発表時間

- ・優秀演題口演：10分(発表7分+討議3分)
- ・優秀演題ポスター：6分(発表4分+討議2分)
- ・一般演題口演：10分(発表7分+討議3分)
- ・上記以外の講演：発表時間と討論時間を、運営事務局よりご連絡いたします。

※進行は座長に一任いたします。時間厳守をお願いいたします。

※優秀演題ポスターは、ポスター掲示(発表はなし)も行っております。発表用ボードの規定は、一般演題ポスターと同じです。

2) PC センター

10月17日(木) 7:30~17:30	1F フォワイエ
10月18日(金) 7:50~16:00	

※セッション開始の1時間前(第1日目、最初のセッションでご発表の方は40分前)までにお越しください。

- 3) 口演発表は、PCによる発表(1面)のみです。発表データは、CD-R または USB メモリースティックでご持参いただくか、ご自身のPCをお持ちください。プレゼンテーションに動画などを含まれる場合は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めします。Macintoshでデータを作成されている場合は、必ずご自身のPCをご持参ください。
- 4) 口演終了の合図
発表時間の終了1分前に黄ランプ、終了時に赤ランプでお知らせします。
- 5) 次演者
次演者は、前の演者が登壇されましたら、次演者席にお着きください。
- 6) 舞台上にモニター、マウス、キーパッドを用意しますので、操作はご自身でお願いします。
- 7) 音声の出力はできませんので、ご承知ください。
- 8) 映像出力は、ミラーリング形式のため、発表者ツールは使用できません。

【PCを持ち込まれる場合】

- ①持参したPCで発表される場合も、PCセンターでの接続・動作確認と試写が必要です。セッションの開始1時間前(第1日目、最初のセッションでご発表の方は40分前)までにPCセンターへお越しください。発表開始時刻の30分前までに会場内の次演者席付近のPCデスクにPCを持参し、PC接続の確認をお申し出ください。PCデスクではオペレーターが待機しており、持参されたPCの接続・動作確認を行います。PCはPCデスクに設置しケーブル接続しますので、演台に乗せ上げることはできません。発表時のスライド進行はあらかじめ用意された演台上の機器を使用してください。
- ②電源アダプターおよび外部出力用に特殊なコネクタが必要な場合は、そのコネクタを必ずご持参ください。Macintoshや薄型PC等、一部の機器では出力端子の規格が異なることがあります。その場合には、必ず映像出力用ミニD-sub15 pin 接続変換アダプターをご持参ください。会場にはミニD-sub15 pinのモニター出力端子のみ用意いたします。なお、HDMIやDVIでの出力はできません。
- ③スクリーンセーバーや省電力機能、パスワード設定等の発表の妨げとなるモードはあらかじめオフに設定してください。
- ④映像出力はミラーリング形式のため、発表者ツールは使用できません。
- ⑤動画を使用される場合は、ご自身のPC本体を持ち込まれることをお勧めします。所定の動画フォルダに動画データが格納されていることをご確認ください。また、他のPCでの動画確認も事前に行ってください。Windowsのムービーメーカー等で作成されたwmvやmp4を推奨します。

- ⑥データは最新のウイルス駆除ソフトを使用して、ウイルスチェックを行ってください。
- ⑦万一に備え、別途 CD-R または USB メモリースティックでバックアップデータをご持参ください。スライドのサイズは 4：3, XGA(1024 × 768) で作成してください。
- ⑧発表後、ご自身の PC を PC デスクよりお受け取りください。

【発表データを持ち込まれる場合】

- ①会場で用意している PC の OS は Windows です。
- ②アプリケーションは、Microsoft PowerPoint 2010, 2013, 2016 です。出力解像度は XGA (1024 × 768) です。このサイズより大きい場合、スライド周辺が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。また、小さい場合も画質の劣化につながりますので、ご注意ください。
- ③ CD-R または USB メモリースティックでご持参ください。MO などその他のメディアには対応しておりません。また、データは必ず最新のウイルス駆除ソフトでチェックを済ませたものをご持参ください。
- ※ CD-R にデータをコピーするときには、ファイナライズ(セッションのクローズ)作業を必ず行ってください。この作業が行われていないと、作成した PC 以外では、データを開くことができませんので、ご注意ください。
- ④フォントは Windows 版 Microsoft PowerPoint に標準装備されたものをご使用ください。推奨フォント以外のフォントを使用すると代替フォントが使用され、レイアウトが崩れることがあります。特殊なフォントをお使いになるときは画像化し、オブジェクトとして貼り付けてください(推奨フォント：MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝, Arial, Century, Times New Roman)。
- ⑤データは会場に用意するサーバーに一旦コピーしますが、学術集会終了後、事務局が責任をもって消去いたします。

4. ポスター演題発表の皆様へ

1) 貼付・撤去

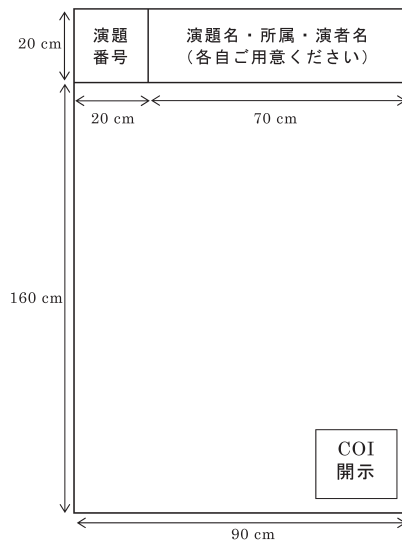
貼付日時	10月17日(木) 10:00~11:30
閲覧時間	10月17日(木) 11:30~16:30
	10月18日(金) 8:20~10:20, 11:55~16:00
発表・討論時間	10月17日(木) 16:30~18:10
	10月18日(金) 10:20~11:55
撤去日時	10月18日(金) 16:00~17:00

※ポスターの貼付時間は厳守してください。

※時間内に撤去されなかった場合は、事務局にて撤去処分いたします。

2) 演題発表用のボード

- ①本文のスペースは縦 160 cm, 横 90 cm です。
演題番号は事務局で用意します。
- ②演題名, 所属および演者名は各自でご用意ください(縦 20 cm, 横 70 cm). 演題名は日英併記にしてください。
- ③ボードには押しピンで貼り付けてください。押しピンはポスターボードに設置します。見やすい展示を心がけてください。
- ④本文の最終部に、利益相反の有無を開示してください(詳細は 13 頁, または学術集会ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/joakiso2019/> をご参照ください)。



3) 発表・討論について

時間は 1 題につき, 5 分(発表 3 分・討議 2 分)です。討論の時間を充分とるために発表時間を厳守してください。発表者は発表予定時間の 10 分前までにご自身のポスターボード前に待機してください。

V. 発言者の皆様へ

質疑応答で発言をされる方は, あらかじめマイクの前に並んでお待ちください。座長の指示に従い, 所属・氏名を述べたのち, 簡潔に発言してください。単なる追加発言はご遠慮ください。スライドなどは使用できません。

VI. 日本整形外科学会教育研修単位を取得される皆様へ

1. 単位取得について

単位取得は有料です(1 単位につき 1,000 円)。基礎学術集会での受講により取得できる単位数の上限はなくなりました。

2. 単位取得講演について

特別講演, 招待講演, 臨床系学会推薦・基礎講座, 日本医学会連合加盟学会連携フォーラム, シンポジウムとパネルディスカッションの一部, ランチョンセミナー, スイーツセミナーは単位を取得できます。これらの講演の聴講は日整会教育研修単位の取得を希望されない方でも, 本学術集会参加者ならどなたでも可能です。

3. 教育研修単位取得講演の受講手続きについて

- ①教育研修受講申込書に必要事項をご記入のうえ, **教育研修受講受付**にて, 講演開始 10 分前(ランチョンセミナー, スイーツセミナーは 30 分前に締め切りますのでご注意ください)までに受講手続きをお済ませください。ただし, 規定の人数に達した場合, 入場できないことがありますので, ご了承ください。

②講演会場での手続きについて

講演開始 10 分前から、講演開始 10 分後までに IC 会員カードまたは仮 IC 会員カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。10 分を過ぎた場合、受講手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

受講手続きを行った講演と実際に受講する講演が異なる場合は、入場時に IC 会員カードまたは仮 IC 会員カードを読み取り機にかざすと警告音が鳴り、単位取得ができませんのでご注意ください。

※シンポジウム、パネルディスカッション会場での手続き注意事項

シンポジウム、パネルディスカッションでの単位を取得する場合は、入場時と退出時の両方で IC 会員カードまたは仮 IC 会員カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざしてください。入場時のみ、あるいは退出時のみでは単位取得ができませんのでご注意ください。

③研修手帳について

研修手帳貼付用の受講シールの発行は、平成 27 年 1 月から開始された単位取得のデジタル化により廃止いたしました。演題名を含む受講記録が、日本整形外科学会ホームページの会員専用ページの会員マイページの「資格関連の単位振替システム」に、学会終了 2 週間後から表示されます。未専門医の方は、専門医申請の際には、ご自身の単位取得履歴一覧をプリントアウトして他の必要書類と一緒にご提出ください。

④研修単位受講履歴の確認について

基礎学術集会終了から 2 週間程度で取得単位が反映されます。日整会ホームページの会員専用ページの会員マイページの「資格関連の単位振替システム」で単位取得状況をお確かめください。取得した単位で、複数の必須分野等が認定されている場合、自動的に小さい方の分野番号が登録されています。たとえば N1, N3, R が認定されている場合、自動的に N1 が登録されています。N3 や R の単位として登録したい場合は、「単位振替システム」を使って変更してください。

なお、同一時間帯での複数の受講記録がある場合は過誤データになりますので、「単位振替システム」で間違っている受講の削除を行ってください。3 カ月以内にご自身で訂正されなかった場合は、一定のルールに従って機械的に削除されますので、ご注意ください。

⑤基礎学術集会参加単位の取得について

本学術集会参加単位は、IC 会員カードまたは仮 IC 会員カードを用いて、会期中の参加登録時に自動的に登録されます。日整会認定整形外科専門医の学会参加単位は 5 年間で 20 単位まで認められます。

	基礎学術集会参加単位
整形外科専門医の資格を得るための研修期間の会員	—
日本整形外科学会認定整形外科専門医	4 単位
日本専門医機構認定整形外科専門医	3 単位

Ⅶ. 他学会の単位取得について

臨床系学会推薦・基礎講座2が日本手外科学会の単位として認定されております。21頁の講演一覧をご覧ください。

日本リウマチ学会専門医の研修単位として、日整会基礎学術集会の参加で3単位が認められています。参加章(コピー可)が単位の申請には必要となりますので、ご自身で保管のうえ、日本リウマチ学会事務局へ申請してください。

Ⅷ. 第53回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会開催について

本学術集会において、骨・軟部腫瘍取扱いについての特別研修会を以下の要領で開催いたします。この研修を受講されますと、整形外科医専門医試験の受験申請に必要な腫瘍の単位1単位が取得できます。

- 日 時 : 令和元年10月18日(金) 14:45~15:45
会 場 : 第2会場 (パシフィコ横浜 会議センター 5F 503)
内 容 : 「骨腫瘍の診断と治療」阿部哲士(帝京大学整形外科)
対 象 : 未整形外科専門医(今後、専門医試験を受験予定の方)
定 員 : 300名。定員を超えた場合は、入会年月日の早い方が優先となります。
申込方法 : 予約制。ただし、空席がある場合には受講できます。
日整会誌第93巻第7号(545頁)の会告にてご確認のうえ、お申し込みください。
申込締切 : 9月27日(金)
※特別研修会の受講には、本学術集会の参加登録が必要です。

Ⅸ. 第22回 日本整形外科学会研修指導者講習会開催について

- 日 時 : 令和元年10月18日(金) 14:45~16:45
会 場 : 第1会場 (パシフィコ横浜 会議センター 1F メインホール)
内 容 : 1. 医療倫理に関する講演
座長 山本謙吾(東京医科大学整形外科)
講師 稲葉一人(中京大学法科大学院)
2. 医療安全に関する講演
座長 中島康晴(九州大学大学院整形外科)
講師 長谷川奉延(慶應義塾大学医療安全管理部)
対 象 : 日整会認定研修施設の指導的立場の整形外科専門医
定 員 : 1,000名
受講方法 : 本学術集会の参加登録後、定刻までにご入場ください。IC会員カードにて出席の確認をいたしますので、必ずご持参ください。詳細は日整会誌第93巻第7号(546頁)の会告をご参照ください。
そ の 他 : 本講習会を受講すると、新専門医制度の専門医共通講習の必修項目の医療安全と医療倫理の各1単位が取得できます。

抄録査読委員

相澤俊峰	青木光広	赤木將男	秋末敏宏	秋月章
秋山治彦	浅野聡	安達伸生	阿部哲士	阿部信寛
尼子雅敏	新井貞男	飯塚伯	飯塚陽一	猪狩勝則
池内昌彦	池上博泰	池田浩	池田全良	石井賢
石井朝夫	石井政次	石島旨章	石堂康弘	石橋恭之
市村正一	井樋栄二	伊藤浩	伊藤宣	伊藤雅之
伊東学	稲垣克記	稲葉裕	乾健太郎	射場浩介
今井晋二	今村宏太郎	岩崎倫政	岩崎幹季	植山和正
牛田享宏	内尾祐司	内山勝文	内山政二	占部憲
江幡重人	遠藤直人	大川淳	大川孝浩	大関覚
大谷卓也	大鳥精司	大野和則	大橋弘嗣	大林治
大森豪	岡崎賢	奥田貴俊	奥田良樹	生越英二
生越章	尾崎誠	尾崎敏文	長田伝重	長田龍介
小澤浩司	織田弘美	小田義直	尾上英俊	面川庄平
柿木良介	加来信広	梶谷充	片平弦一郎	香月一朗
加藤真介	金森昌彦	金谷文則	金子和夫	加畑多文
川上守	川口浩	川口善治	川手健次	河野博隆
川原範夫	神戸克明	北純	吉川一郎	木村友厚
串田剛俊	国定俊之	久保俊一	熊井司	黒田良祐
古賀英之	小嶋俊久	小西宏昭	小宮節郎	近藤英司
税田和夫	齋藤貴徳	齋藤琢	齋藤知行	齋藤直人
斎藤充	西良浩一	三枝康宏	酒井昭典	酒井大輔
坂井孝司	佐粧孝久	佐藤勝彦	佐藤正人	塩田悦仁
宍戸孝明	篠崎哲也	志波直人	柴田陽三	島田洋一
清水健太郎	白濱正博	神宮司誠也	菅野伸彦	菅本一臣
鈴木昌彦	浜藤啓広	砂川融	関口美穂	関矢一郎
瀬戸口啓夫	宗圓聡	副島崇	曾雌茂	高井信朗
高木理彰	高相晶士	高橋寛	高橋満	田口敏彦
竹下克志	田中栄	田中千晶	田中康仁	谷口晃
谷口昇	種市洋	玉井和哉	筑田博隆	千葉一裕
帖佐悦男	津田英一	土谷一晃	土屋弘行	坪山直生
妻木範行	津村弘	鄭雄一	出家正隆	寺下浩彰
土井一輝	土井田稔	遠山晴一	戸口田淳也	徳橋泰明
飛松好子	富田哲也	富田雅人	豊根知明	鳥越知明
中川照彦	仲川喜之	中島康晴	永島英樹	中田研
永野聡	中村英一	中村英一郎	中村茂	中村憲正
中村博亮	中村正則	中村雅也	名倉武雄	名越智
成島勝之助	新倉隆宏	仁木久照	西浦康正	西田圭一郎
西田康太郎	西田淳	西田佳弘	根尾昌志	野沢雅彦
野田政樹	芳賀信彦	萩野浩	箱崎道之	橋口兼久

橋詰博行	橋本淳	長谷川惇	長谷川徹	長谷川幸治
服部耕治	羽鳥正仁	播谷勝三	波呂浩孝	日高典昭
平泉裕	平田仁	平野篤	平野徹	廣瀬隼
福井尚志	福岡宗良	福田寛二	富士武史	藤林俊介
藤原浩芳	麩谷博之	朴木寛弥	堀井恵美子	堀内圭輔
眞島任史	松下功彦	松下和彦	松末吉隆	松田秀一
松原三郎	松峯昭彦	松本秀男	松本守雄	松本嘉寛
松山幸弘	丸毛啓史	馬渡正明	三浦裕正	三上靖夫
三上容司	三島初史	水田博志	三宅信昌	宮腰尚久
宮原寿明	宮本健史	宮本雅史	宮脇裕二	名井陽
武者芳朗	宗田大史	村上英樹	村田泰章	持田勇一
桃原茂樹	森諭史	森井健司	矢島弘嗣	安田剛敏
安田稔人	安永裕司	柳川天志	矢吹省司	山縣正庸
山崎正志	山下敏彦	山田宏	山本謙吾	山本卓明
山本哲司	山本直也	吉井俊貴	吉川秀樹	吉田宗人
吉田行弘	吉矢晋一	米和徳	脇谷滋之	和田卓郎
和田佑一	渡部昌平	渡辺雅彦		

(283名, 五十音順, 敬称略)

第34回 日本整形外科学会基礎学術集会

会長講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時
基礎と臨床の融合	紺野慎一	S1579	1	17日 13:40-14:00

特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686					
1	脊髄損傷患者に対する新しい幹細胞製剤(再生医療等製品)	本望 修	S1577	1	17日	8:20-9:20	N,SS	7,8	2				
2	慢性炎症と整形外科	半場道子	S1579							14:10-15:10	N,Re	6	18
3	デザインが研究の質を決定する	福原俊一	S1580										
4	腰痛の危機 一わが国の整形外科は乗り切れるかー	菊地臣一	S1796	18日	10:40-11:40	N,SS	7	29					
5	これから論文を書く若き整形外科医のために	酒井聡樹	S1797						2	13:35-14:35	N	14-5	39
6	トランスレーショナルリサーチ in 福島 ー福島コレクション: 構築までの道のりとその全貌ー	渡辺慎哉	S1804	N	1	40							

招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686	
1	Understanding the brain's role in chronic pain development and management	M.N. Baliki	S1577	1	17日	9:30-10:30	N	8	5
2	Improved orthopaedic-specific and generic quality of life (QOL) surveys make patient-reported outcome measures more clinically useful	J.E. Ware, Jr.	S1578						
3	From idea to clinical studies: The development of a novel approach for treatment of chronic low back pain	K. Olmarker	S1603	4	17:30-18:00				
4	Chondrocyte precursors (CPs) might repair cartilage defect effectively: An observation of 8-10 years	H.-C. Liu	S1614						1
5	Future targets of neuropathic pain research	V.I. Shubayev	S1795	9:30-10:30	N,SS	7	28		
6	New horizons in degenerative disc disease	K. Wuertz-Kozak	S1795						

臨床系学会推薦・基礎講座

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686	他学会 単位
1	【日本脊椎脊髄病学会】 Unloadingストレスの感知とオルガネラ連関	二川 健	S1584	2	17日	8:20-9:20	N,SS	1	1
	【日本肩関節学会】 肩関節変性疾患の病態解明	谷口 昇							
2	【日本肘関節学会】 末梢神経再生の基礎と臨床	池口良輔	S1585		9:30-10:30	N	1,8	4	手外科学会
	【日本手外科学会】 微細加工組織(tissue chips)を用いた新規再生誘導技術の現状	磯貝典孝							

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686	他学会 単位
3	【日本股関節学会】 股関節骨形態異常と変形性股関節症	神野哲也	S1586	2	17日	10:40-11:40	N,S	11	7
	【日本整形外科スポーツ医学会】 スポーツ医学の基礎研究:過去から未来へ	帖佐悦男							
4	【日本小児整形外科学会】 小児整形外科の基礎研究	神谷宣広	S1591			15:50-16:50	N	1	21
	【日本骨折治療学会】 骨折治療におけるbiology	新倉隆宏							
5	【日本足の外科学会】 足の外科 機能解剖学に基づいた治療法の 開発	平野貴章	S1592			17:00-18:00	N,R	12	26
	【日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会】 関節温存のための再生医療的アプローチ	中村憲正							

日本医学会連合加盟学会連携フォーラム 特別シンポジウム

タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686
Cadaver surgical trainingが整形外科医にも もたらすもの	鈴木崇根, 八木沼洋行	S1581-3	1	17日 16:30-18:00	N	1, 14-5	24

シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686
1	脊髄損傷:再生メカニズムと治療の最先端	島田洋一, 中村雅也	S1596-8	3	17日 10:00-11:30	N,Re	8,13	6
2	腰痛研究最前線:基礎から臨床へ	川口善治, 折田純久	S1798-800	2	8:20-9:50			
3	運動器疾患の病態を捉えるイメージング	柿木隆介, 関口美穂	S1801-3		18日 10:00-11:30			
4	軟骨再生研究の現在と未来	佐藤正人, 脇谷滋之	S1812-4	3	13:35-15:05			
5	温故知新 一先達からのメッセージ	内田淳正, 永田見生	S1823-5	4				

パネルディスカッション

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686
1	バイオメカニクス研究の最前線	藤江裕道, 中田 研	S1588-90	2	14:10-15:40			
2	椎間板再生への挑戦	酒井大輔, 海渡貴司	S1593-5	3	8:20-9:50			
3	リウマチ研究と分子標的治療薬	石黒直樹, 木村友厚	S1600-2		17日 14:10-15:40	N,R	6	19
4	人工関節研究の現在と未来	三浦裕正, 中西義孝	S1604-6	4	8:20-9:50	N	11,12	3
5	運動器疾患ゲノム研究の未来	池川志郎, 渡邊航太	S1607-9		10:00-11:30			
6	運動器疾患モデルの確立と治療ターゲット	池内昌彦, 大島精司	S1611-3	3	14:10-15:40			
7	バイオマテリアル開発が手術にもたらした 影響	馬渡正明, 山本謙吾	S1805-7		18日 8:20-9:50			
8	骨代謝研究による骨粗鬆症治療の改革	田中 栄, 宮本健史	S1808-10		10:00-11:30			
9	骨関節感染症の制圧 —基礎研究の最新知見—	松下和彦, 山田浩司	S1816-8	4	8:20-9:50			
10	希少がんの研究材料 —骨・軟部肉腫 細胞株とPDXモデルの樹立—	近藤 格, 中 紀文	S1819-21		10:00-11:30			

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 取得	必須 分野	認定番号 19-1686
1	加齢・性ホルモン減少・生活習慣病に伴う骨折 リスク増大の機序と対策	斎藤 充	S1578	1	17日 12:10-13:20	N	2,4	9
2	新規三次元画像解析による脊髄神経路と 椎間孔形態評価に基づいた頸椎難治性 疾患の治療戦略	渡辺 慶	S1587	2		N,SS	7	10
3	運動器疾患領域の基礎研究成果の実用化へ 向けて	石井 賢	S1599	3		N	1	11
4	変形性膝関節症に対する抗炎症治療の重要性	内尾祐司	S1610	4		N	12	12
5	IL-6から炎症病態を考える	右田清志	S1624	5		N,R	6	13
6	健康寿命を考える —変形性関節症, 関節 リウマチにおける軟骨変性抑制へのアプローチ—	小嶋俊久	S1643	6		N,R	6	14
7	早期回復を意識した術後マルチモーダル鎮痛に おけるアセトアミノフェンの投与方法	新山幸俊	S1662	7		N	8	17
	術後, アセトアミノフェンで楽になろう —看護師さんと定時投与の一工夫—	青田恵郎						
8	腰痛の臨床・疫学研究と腰痛診療ガイドライン 2019	今釜史郎	S1681	8		N,SS	7	15
9	人工膝関節全置換術の疼痛・出血対策	塚田幸行	S1700	9	N	12	16	
10	脊椎疾患の長引く痛みの病態は? —基礎と 臨床研究の融合と倫理面からのエビデンス—	関口美穂	S1796	1	18日 12:10-13:20	N,SS	1,7	30
11	下行性抑制系を介した慢性痛の治療	小幡英章	S1804	2		N	8	31
12	高齢者の慢性腰痛 —骨粗鬆症性椎体骨折の 2019年度診療マニュアルも含めて—	大鳥精司	S1811	3		N,SS	4,7	32
13	TKAの手術手技に重要な解剖的構造とアライ メント	二木康夫	S1822	4		N	12	33
14	ロコモ原因疾患としての変形性膝関節症 —早期から末期まで病態に則した治療の実現を 目指して—	石島旨章	S1836	5		N,Re	12,13	34
15	人工関節周囲感染の診断・治療における現状の 課題	稲葉 裕	S1852	6		N	6	35
16	変形性膝関節症に対するアプローチ —関節温存を目指して—	古賀英之	S1868	7		N	12	36
17	骨再生のdiamond conceptから骨癒合不全の 治療を考える	渡部欣忍	S1884	8		N	2	37
18	疼痛による疾患治癒能力低下機序の統合的解析	成田 年	S1900	9		N	1,8	38

スイーツセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位取得	必須分野	認定番号 19-1686
1	大腿骨近位部骨折の一次予防と二次予防	岩本 潤	S1603	3	16:00-17:10	N	2,4	22
2	組織学的観点から見た骨形成促進作用を有する薬剤間の差異	真柴 賛	S1614	4		N	4	23
3	慢性疼痛の分類の開発の必要性とその取り組み	牛田享宏	S1633	5	16:40-17:50	N	8	25
	層別化の方法としてのquantitative sensory testing (QST)の有用性	泉 仁						
4	関節リウマチ患者の身体機能を考える	小嶋俊久	S1815	3	15:25-16:35	N,R	6	42
	アパタセプトによる骨吸収抑制メカニズム	田中 栄						
5	腫瘍脊椎骨全摘術で生じた疑問を基礎研究で解決する	村上英樹	S1826	4		N,SS	5,7	41

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

N: 日整会専門医単位 S: スポーツ単位 R: リウマチ医単位
 SS: 脊椎脊髄病医単位 Re: 運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
- 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
- 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
- 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
- 5 骨・軟部腫瘍
- 6 リウマチ性疾患, 感染症
- 7 脊椎・脊髄疾患
- 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
- 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
- 11 骨盤・股関節疾患
- 12 膝・足関節・足疾患
- 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
- 14-1 医療安全
- 14-2 感染対策
- 14-3 医療倫理
- 14-4 その他の共通講習
 医療制度と法律, 地域医療, 医療福祉制度, 医療経済(保険医療に関するものを含む), 臨床研究・臨床試験, 両立支援(治療と仕事)およびそれらに関連する講習会. 以上のほか, 専門医としての人間性ならびに社会性向上に資する講習会(医師患者間のコミュニケーションに関する講演や専門領域以外の科学的もしくは文化的な講演などを含む).
- 14-5 医学全般にわたる講演会など, 従来分野14のうち14-1~14-4に当てはまらないもの

14-1~4は機構認定専門医共通講習, 14-1~3は機構認定専門医必修講習
 (5年間で14分野を各1回以上受講しなければならない)